

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 落学喜サポート anemone

公表日 R7年 5月 29日

利用児童数 19

回収数 12

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	12					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	11			1		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9	3				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	11	1			店舗を改装しているのでどうしても無理がある場所がある	個室や目隠しになるロッカーや仕切り壁を配置しなるべく過ごし易い環境作りを心掛けています。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	11			1		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	11			1		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	11	1				
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	10	1		1		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	11			1		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	11	1				
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	7	3		2		近隣公園にて日々地域のお友達と関わる機会が多々あります。Anemone祭りでは地域のお友達も参加しています。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	12					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	11	1				
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	2		4		ペアレントトレーニング研修や勉強会に参加していく予定です
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	10	2				
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	11		1			
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	11	1				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7	3		2		親子参加型のプログラムを設定し保護者同士が顔を合わせられるよう工夫していきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11			1		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	12					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	11			1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11			1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10		1		無回答 1 名	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10			2		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11			1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	9	1	1	1		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	11	1				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	12					
	29	事業所の支援に満足していますか。	12				いつも親身に寄り添ってくれてありがとうございます。	

※その他の意見として

Google フォームとかスマホで回答できるようにしてもらえるとありがたいです。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス 楽学喜サポートanemone		
○保護者評価実施期間	R7年2月1日 ～ R7年3月31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19 (回答者数)	12
○従業者評価実施期間	R7年5月19日 ～ R7年5月23日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5 (回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 5月26日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	同法人である就労支援事業と連携を取り、ふれジョブ（仕事に触れる）の一環として、ポップコーン販売を行い、イベントや祭りに出店している。	販売を通して色々な人との関わり、社会性を身につけて行くお客さんへの呼び込みを行い、購入に繋がらない時の「どうして？」という思い、購入してくれた時の嬉しさ等を味わってほしい。	売上の一部を子ども達に還元し、仕事への意識を高めていくと共に「お金との付き合い方」も学んで行けるような支援を行って行く
2			
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者支援、ペアレントトレーニングに対して積極的ではないと思われる。	どのようにアプローチしていいのか？どこまで関わって行くべきなのか？色々と考えてしまい、行動へ移す事が出来ない。	まずは、保護者の方々と気楽に話が出来る場を設定していく事が必要ではないか？ ペアトレ研修や勉強会等に参加していく
2			
3			